



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 宮城 晃

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	48,440	△2.8	2,780	△37.3	6,887	28.8	4,942	29.4
28年3月期第1四半期	49,854	8.4	4,432	35.6	5,348	13.7	3,819	26.3

(注)四半期包括利益 29年3月期第1四半期 △3,631百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 9,254百万円 (64.5%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	35.13	35.03
28年3月期第1四半期	27.12	27.04

(注)10ページ 3. 四半期連結財務諸表 (5)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (企業結合に関する注記) に記載の通り、平成28年3月期第1四半期については、適宜的に調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	286,405	219,908	215,111	75.1	1,538.15
28年3月期	292,854	229,401	224,374	76.6	1,592.90

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	33.00	33.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	104,000	△1.6	6,000	△38.0	10,000	△6.1	6,800	△9.1	48.34
通期	203,000	0.0	10,000	△27.9	14,500	△3.1	10,000	△10.4	71.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	143,378,085 株	28年3月期	143,378,085 株
29年3月期1Q	3,527,378 株	28年3月期	2,519,350 株
29年3月期1Q	140,661,785 株	28年3月期1Q	140,839,822 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(企業結合に関する注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(6) 販売の状況	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

①当第1四半期の業績

当社グループでは、本年を初年度とした新しい中期経営計画（2016～2018年度）がスタートしました。グループ経営基盤の整備を土台に、国内事業における収益の確保、海外事業のさらなる成長、グループ内でのシナジー発揮と競争力の強化、事業ポートフォリオ拡大への挑戦という5つの基本方針に沿って、収益性と事業効率の向上を図る一方、効果的な資本政策を遂行して企業価値の向上を目指します。

これらの取り組みによる、当社グループの当第1四半期の連結業績は、国内事業については、インバウンド需要が一巡したこと、高額商品などが伸び悩んだことから売上は前年同期を下回りました。海外事業につきましても、主力エリアの苦戦に加え、為替の影響により売上が減少し、グループ全体の売上高は前年同期を下回りました。利益面では、国内事業の販管費増加や在仏国子会社の更生手続関連費用の計上により、全体の営業利益は前年同期を大きく下回りました。なお、平成28年1月29日に開示した固定資産（土地）の譲渡に関して、当第1四半期にて37億70百万円の売却益を計上したため、税引前四半期純利益は前年同期を大きく上回りました。

●売上高	484億40百万円	（前年同期比	2.8%減）
●営業利益	27億80百万円	（前年同期比	37.3%減）
●税引前四半期純利益	68億87百万円	（前年同期比	28.8%増）
●当社株主に帰属する四半期純利益	49億42百万円	（前年同期比	29.4%増）

②オペレーティング・セグメントの営業概況

a. ワコール事業（国内）

国内事業においては、外部環境の変化に対応すべく、お客さま視点のチャンネルミックス構築に向け、本年度は卸事業の生産性向上と小売事業の収益性向上に取り組んでいます。また、商品面では、付加価値の高い新製品を開発するとともにターゲット層に合わせた適正な商品政策の遂行を目指します。

株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、主力アイテムであるブラジャーは、今までにない快適な着け心地を実現したキャンペーン商品が売上を牽引し、順調に推移しました。しかしながら、一部地域の百貨店チャンネルでのインバウンド需要が一巡したことや、高級ブランド商品の売上が伸び悩んだことで、事業本部全体の売上は前年同期並みとなりました。

ウイングブランド事業本部につきましては、ブラジャーがTVCFを投入した春のキャンペーンを中心に好調だったことに加え、干支にちなんだ縁起物のショーツや夏用の肌着も好調に推移し、店頭売上は上向きに推移したものの、店頭在庫の調整なども影響し、事業本部全体の売上は前年同期を下回りました。

小売事業本部につきましては、直営店「AMPHI（アンフィ）」では、既存店の客数が減少し苦戦したものの、新規出店が増えたことで売上は前年同期を上回りました。また、この春から直営ショップブランドの共通商材を幅広く展開し、SNSや店頭プロモーションを強化したことが新規顧客の購買につながり、収益改善に貢献しました。これらの結果、事業本部全体の売上は、前年同期を上回りました。

ウエルネス事業部につきましては、スポーツコンディショニングウェア「CW-X（シーダブリューエックス）」は、春の新商品を中心にスポーツチェーン店やECサイトで堅調に推移したものの、百貨店肌着売り場を中心に展開しているデイリーユース向けの商品が苦戦し、前年同期を下回りました。併せて米国向けの販売が不振であったため、事業部全体の売上は、前年同期を下回りました。

通信販売事業部につきましては、ウェブストアは、サービスや機能拡張により来訪客数が増加しましたが、売上拡大には至らず前年同期並みで推移しました。また、カタログ販売は、夏号や折り込みチラシなどが苦戦し、これらの結果、事業部全体の売上は、前年同期を下回りました。

株式会社A i (アイ)につきましては、下着事業は、新規出店により売上が拡大しましたが、水着事業については、他社ECサイトでの展開を開始したものの、主力店舗のロケーション悪化や期間限定の展開店舗数も減少したため、全体の売上は前年同期を下回りました。

以上の結果、主力事業会社ワコールの売上減少により、ワコール事業(国内)セグメント全体の売上高は、前年同期を下回りました。利益面につきましても、株式会社ワコールにおける、退職給付費用の増加や税制改正に伴う外形標準課税の増加などにより、営業利益は前年同期を大きく下回りました。

●売上高	282億14百万円	(前年同期比	2.2%減)
●営業利益	14億83百万円	(前年同期比	35.4%減)

b. ワコール事業(海外)

海外事業につきましては、アメリカ・ヨーロッパ・中国の三大市場において盤石な経営基盤を築き、常時10%以上の営業利益率を挙げられる体制を目指しています。

ワコールインターナショナル(アメリカ)は、売上面では、主力のワコールブランドを中心としたアメリカ国内の百貨店は堅調に推移し、加えて自社ECサイトも好調に推移しました。しかしながら、ヨーロッパ向け商品の減少や周辺国の苦戦に加え、国内得意先の在庫抑制も影響し、全体の売上は前年同期を下回りました。利益面では、PR費を抑えたものの、売上の減少と売上利益率低下のため、営業利益は前年同期を大きく下回りました。

ワコールヨーロッパにつきましては、売上面では、ほとんどの国や地域で百貨店が苦戦しましたが、他社ECサイトが好調だったことにより、全体の売上は現地通貨ベースでは前年並みでした。しかし、邦貨換算ベースでは前年同期を大きく下回りました。利益面では、売上利益率の低下とともに子会社の更生手続関連費用の一部を計上したことから、営業損失となりました。

中国ワコールにつきましては、売上面では、他社ECサイトやアウトレットなどは堅調に推移したものの、主力チャネルである百貨店の売上減少に加え、中間層向けブランド『LA ROSABELLE(ラ・ロッサベル)』の出店を一時凍結したことから全体の売上は前年同期を下回りました。利益面では、売上の減少と人件費の増加により営業利益は前年同期を大幅に下回りました。

以上の結果、ワコール事業(海外)セグメント全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

●売上高	130億19百万円	(前年同期比	8.8%減)
●営業利益	10億27百万円	(前年同期比	46.1%減)

c. ピーチ・ジョン事業

株式会社ピーチ・ジョンにつきましては、ブランドイメージの再構築と出店拡大・顧客基盤強化に取り組みました。国内直営店は、一部地方で苦戦したものの都心部を中心に堅調に推移し、前年同期を上回りました。しかし、通信販売は、サイト訪問者数は増加しているものの購買につながらず、前年同期を大幅に下回りました。一方、海外子会社は香港の直営店が好調だったことに加え、中国の売上も伸長しました。

以上の結果、ピーチ・ジョン事業セグメント全体の売上高は、前年同期を下回りました。利益面では、海外子会社の収益性の改善や為替の影響により売上利益率が上昇したものの、国内通信販売の売上減少が響き、前年同期を大きく下回りました。

●売上高	27億14百万円	(前年同期比	6.0%減)
●営業利益	2億5百万円	(前年同期比	40.4%減)

d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、事業ポートフォリオの見直しによる経営資源の適正化と企画・生産の合理化に努めました。アート・ホビー事業部は、海外での受注が減少したことにより苦戦しましたが、主力のインナー事業部やマテリアル事業部が堅調に推移した結果、ルシアン全体の売上は前年同期を上回りました。利益面については、為替の影響と併せて原材料の仕入れコストの見直しなどにより売上利益率が上昇し、前年同期の営業損失から大幅に改善しました。

株式会社七彩につきましては、既存事業分野の収益確保と新規取引先開拓の強化に努めました。物販事業については苦戦しましたが、レンタル事業は、既存取引先の店舗閉鎖の影響を受けたものの前年同期並みを維持しました。また、工事業については、インポートブランドの期間限定ショップや新規得意先の受注が増加し、売上が拡大しました。これらの結果、全体の売上は前年同期を大きく上回りました。しかしながら利益面については、工事業の売上構成比が高くなったことで売上利益率が低下し、前年同期に引き続き営業損失となりました。

●売上高	44億93百万円	(前年同期比 16.5%増)
●営業利益	65百万円	(前年同期は営業損失 1億13百万円)

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債、株主資本等の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、売掛債権や時価評価による投資の減少などにより、前連結会計年度末に比して64億49百万円減少し、2,864億5百万円となりました。

負債の部は、短期借入金やその他の流動負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して30億44百万円増加し、664億97百万円となりました。

株主資本は、為替換算調整勘定や未実現有価証券評価損益の減少などにより、前連結会計年度末に比して92億63百万円減少し、2,151億11百万円となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して1.5%減少し、75.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して18億15百万円増加し、358億74百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益49億76百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、27億88百万円の収入(前年同期に比し1億87百万円の収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却収入などにより、31億62百万円の収入(前年同期は25億51百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金は増加したものの、配当金の支払や自己株式の取得などにより、26億39百万円の支出(前年同期に比し17億1百万円の支出減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結予想数値につきましては、平成28年5月9日発表時から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	34,059	35,874	1,815
定期預金	2,131	2,080	△ 51
有価証券	1,880	2,060	180
売掛債権	26,936	24,105	△ 2,831
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 2,229	△ 2,340	△ 111
たな卸資産	44,445	45,048	603
繰延税金資産	3,832	3,398	△ 434
その他の流動資産	5,797	6,612	815
流動資産合計	116,851	116,837	△ 14
II. 有形固定資産			
土地	21,677	21,600	△ 77
建物及び構築物	65,056	64,568	△ 488
機械装置及び工具器具備品等	17,552	17,039	△ 513
建設仮勘定	5,419	6,633	1,214
	109,704	109,840	136
減価償却累計額	△ 55,766	△ 55,745	21
有形固定資産合計	53,938	54,095	157
III. その他の資産			
関連会社投資	20,713	19,349	△ 1,364
投資	56,021	53,642	△ 2,379
のれん	17,911	15,951	△ 1,960
その他の無形固定資産	12,112	11,247	△ 865
前払年金費用	8,145	8,247	102
繰延税金資産	1,036	1,018	△ 18
その他	6,127	6,019	△ 108
その他の資産合計	122,065	115,473	△ 6,592
資産合計	292,854	286,405	△ 6,449

科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)	増減金額
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	11,759	14,644	2,885
買掛債務			
支払手形	1,431	1,734	303
買掛金	12,017	12,272	255
未払金	6,106	5,627	△ 479
	19,554	19,633	79
未払給料及び賞与	7,152	5,356	△ 1,796
未払税金	711	660	△ 51
その他の流動負債	5,167	8,397	3,230
流動負債合計	44,343	48,690	4,347
II. 固定負債			
退職給付に係る負債	1,703	1,679	△ 24
繰延税金負債	15,588	14,637	△ 951
その他の固定負債	1,819	1,491	△ 328
固定負債合計	19,110	17,807	△ 1,303
負債合計	63,453	66,497	3,044
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,686	29,668	△ 18
III. 利益剰余金	162,196	162,485	289
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	5,177	△ 1,715	△ 6,892
未実現有価証券評価損益	17,966	16,490	△ 1,476
年金債務調整勘定	△ 1,035	△ 1,081	△ 46
V. 自己株式	△ 2,876	△ 3,996	△ 1,120
株主資本合計	224,374	215,111	△ 9,263
VI. 非支配持分	5,027	4,797	△ 230
資本合計	229,401	219,908	△ 9,493
負債及び資本合計	292,854	286,405	△ 6,449

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	49,854	100.0	48,440	100.0	△ 1,414
II. 営業費用					
売上原価	22,588	45.3	22,505	46.5	△ 83
販売費及び一般管理費	22,834	45.8	23,155	47.8	321
営業費用合計	45,422	91.1	45,660	94.3	238
営業利益	4,432	8.9	2,780	5.7	△ 1,652
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	37		31		△ 6
支払利息	△ 21		△ 12		9
受取配当金	558		643		85
有価証券・投資売却 及び交換損益(純額)	24		84		60
有価証券・投資評価損益(純額)	△ 0		△ 3		△ 3
固定資産売却益	—		3,770		3,770
その他の損益(純額)	318		△ 406		△ 724
その他の収益・費用合計	916	1.8	4,107	8.5	3,191
税引前四半期純利益	5,348	10.7	6,887	14.2	1,539
法人税等	1,806	3.6	2,147	4.4	341
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	3,542	7.1	4,740	9.8	1,198
持分法による投資損益	389	0.8	236	0.5	△ 153
四半期純利益	3,931	7.9	4,976	10.3	1,045
非支配持分帰属損益	△ 112	△ 0.2	△ 34	△ 0.1	78
当社株主に帰属する四半期純利益	3,819	7.7	4,942	10.2	1,123

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	3,931		4,976		1,045
II. その他の包括損益					
— 税効果調整後					
為替換算調整勘定	2,580		△ 7,080		△ 9,660
未実現有価証券評価損益	2,903		△ 1,481		△ 4,384
年金債務調整勘定	△ 160		△ 46		114
その他の包括損益 合計	5,323		△ 8,607		△ 13,930
四半期包括損益	9,254		△ 3,631		△ 12,885
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 114		159		273
当社株主に帰属する四半期包括損益	9,140		△ 3,472		△ 12,612

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 6月30日)	(自 平成28年 4月 1日 至 平成28年 6月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	3,931	4,976
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	1,169	1,161
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金(純額)	83	198
(3)繰延税金	721	486
(4)固定資産除売却損益(純額)	7	△ 3,612
(5)有価証券・投資売却及び交換損益(純額)	△ 24	△ 84
(6)有価証券・投資評価損益(純額)	0	3
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	355	242
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少	2,253	2,111
たな卸資産の増加	△ 2,504	△ 1,926
その他の流動資産等の増加	△ 1,719	△ 1,316
買掛債務の減少	△ 1,471	△ 800
退職給付に係る負債の減少	△ 818	△ 166
その他の負債等の増加	975	1,482
(9)その他	17	33
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,975	2,788
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 508	△ 259
2. 定期預金の減少額	539	157
3. 有価証券の売却及び償還収入	122	—
4. 有価証券の取得	△ 135	—
5. 有形固定資産の売却収入	75	4,033
6. 有形固定資産の取得	△ 1,062	△ 450
7. 無形固定資産の取得	△ 492	△ 389
8. 投資の売却収入	27	331
9. 投資の取得	△ 130	△ 266
10. その他	△ 987	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,551	3,162
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	4,312	3,350
2. 長期債務による調達	100	—
3. 長期債務の返済	△ 4,433	△ 113
4. 自己株式の取得	△ 2	△ 1,157
5. 当社株主への配当金支払額	△ 4,225	△ 4,648
6. 非支配持分への配当金支払額	△ 92	△ 79
7. その他	—	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,340	△ 2,639
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	400	△ 1,496
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 3,516	1,815
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	38,410	34,059
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	34,894	35,874

補足情報

現金支払額		
利息	21	12
法人税等	3,628	2,487
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	446	1,676

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合に関する注記)

平成27年4月1日に当社の子会社である(株)A i が事業を譲り受けた際、取得に際し引渡した対価から識別可能な取得資産及び引受負債を詳細に調査及び分析をした上で見積もった公正価値を差し引いた差額を負ののれん発生益として四半期連結損益計算書上、一括計上しております。前第2四半期連結会計期間において取得日より後に新たに入手した情報に基づき、取得日における資産と負債の公正価値を修正しました。

これに伴い、前第1四半期累計期間の四半期連結財務諸表について当該調整を遡及して反映した後の数値を記載しております。

(セグメント情報等)

① オペレーティング・セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	28,836	14,277	2,886	3,855	49,854	—	49,854
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	387	2,196	173	1,366	4,122	△ 4,122	—
計	29,223	16,473	3,059	5,221	53,976	△ 4,122	49,854
営業利益(△損失)	2,297	1,904	344	△ 113	4,432	—	4,432

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	28,214	13,019	2,714	4,493	48,440	—	48,440
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	266	2,765	242	1,381	4,654	△ 4,654	—
計	28,480	15,784	2,956	5,874	53,094	△ 4,654	48,440
営業利益	1,483	1,027	205	65	2,780	—	2,780

(注) 各事業の主な製品

- ワコール事業(国内) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レグニット他
- ワコール事業(海外) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レグニット他
- ピーチ・ジョン事業 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア)、アウターウェア、その他繊維関連商品他
- その他 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マネキン人形、店舗設計・施工他

② 地域別情報

前第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	35,503	4,589	9,762	49,854
構成比	71.2%	9.2%	19.6%	100.0%
営業利益	2,538	516	1,378	4,432

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	35,325	4,982	8,133	48,440
構成比	72.9%	10.3%	16.8%	100.0%
営業利益	1,695	732	353	2,780

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第1四半期		当第1四半期		増減	
		自平成27年4月1日 至平成27年6月30日		自平成28年4月1日 至平成28年6月30日			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
インナーウェア	ファンデーション・ランジェリー	37,709	75.6	36,053	74.4	△ 1,656	△ 4.4
	ナイトウェア	2,518	5.1	2,464	5.1	△ 54	△ 2.1
	リトルインナー	405	0.8	428	0.9	23	5.7
	計	40,632	81.5	38,945	80.4	△ 1,687	△ 4.2
アウターウェア・スポーツウェア等		4,538	9.1	4,081	8.4	△ 457	△ 10.1
レッグニット		637	1.3	552	1.2	△ 85	△ 13.3
その他繊維製品及び関連製品		1,830	3.7	2,294	4.7	464	25.4
その他		2,217	4.4	2,568	5.3	351	15.8
合計		49,854	100.0	48,440	100.0	△ 1,414	△ 2.8